

区立幼稚園の今後の運営等について

1 経緯

品川区では、「子どもの笑顔があふれるまちの実現」を目指し、生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期における質の高い教育・保育環境を整備し、子育て・親育ちを支援することを目的として、幼児教育・保育に取り組んでいます。近年は保育ニーズが高まる一方で、幼稚園の入園希望者が年々減少しています。加えて、これまで増加傾向が続いていた就学前人口が減少に転じ、今後も減少傾向が続くと見込まれています。

こうした背景を踏まえ、区立幼稚園の今後のあり方や役割を改めて見直し、運営等の方向性を検討してきました。

2 検討における基本的な視点

検討にあたっては、以下の3つの視点を重視した検討を行いました。

視点1 子どもの成長の視点

- ・ 幼児教育・保育の質の向上
- ・ 適正規模の確保

視点2 保護者・子育て支援の視点

- ・ 在園児の保護者に対する子育て支援の充実
- ・ 地域の子育て家庭への支援の必要性

視点3 行政経営の視点

- ・ 限られた資源の有効活用、ニーズ変化への柔軟な対応
- ・ 区立幼稚園が担うべき役割を踏まえた方向性の検討

3 今後の運営の方向性

【基本的な考え方】

幼稚園ニーズの変化に対応し、行政経営資源を有効活用することで、幼児教育・保育の充実・機能強化を図る

幼保一体施設の特徴を活かしつつ、0歳から就学までの一貫した子どもの保育・教育と小学校への円滑な接続の推進を図るとともに、特色ある多様な保育・教育活動や地域の子育て家庭への支援の充実など、区立幼稚園の強みを活かした機能のさらなる強化を図ります。単独園3園については、幼稚園ニーズの減少を踏まえ順次閉園することとし、その資源を幼保一体施設の充実に充てるなど、区が目指すまちの将来像の実現や地域課題の解決に向けて、様々な分野での活用を含め有効活用を検討することとします。

【幼保一体施設の充実について】

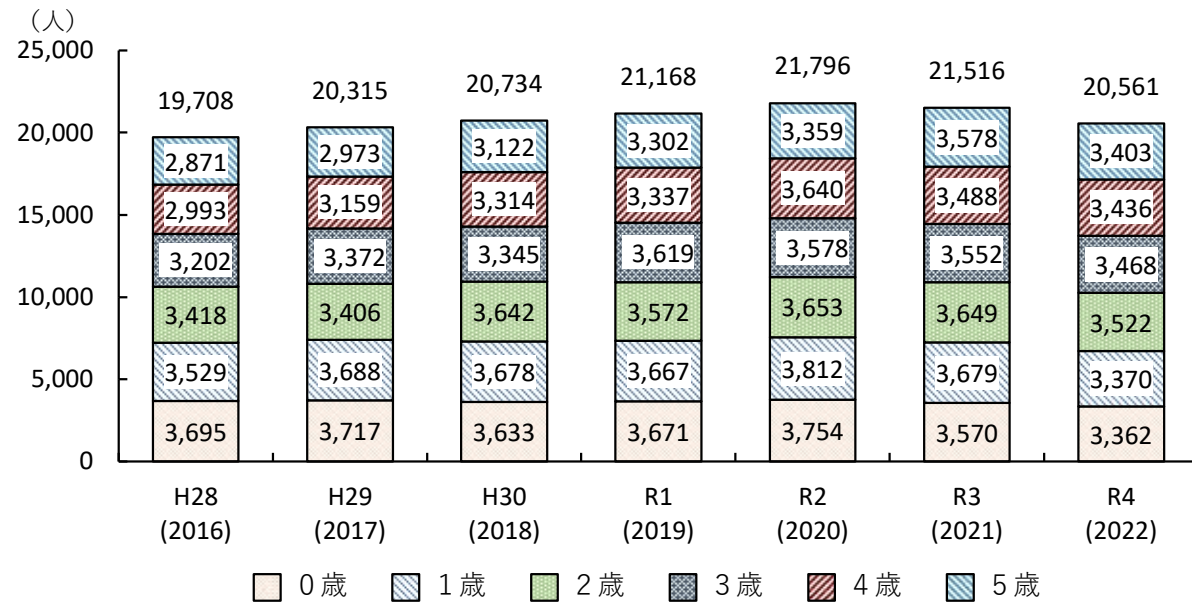
- ① 幼保一体施設の特徴を生かした取り組みの推進
- ② 特色ある保育・教育に向けた取り組みの推進
- ③ 小学校への円滑な接続の推進
- ④ 子育て支援の充実に向けた取り組みの推進

【単独園の閉園について】

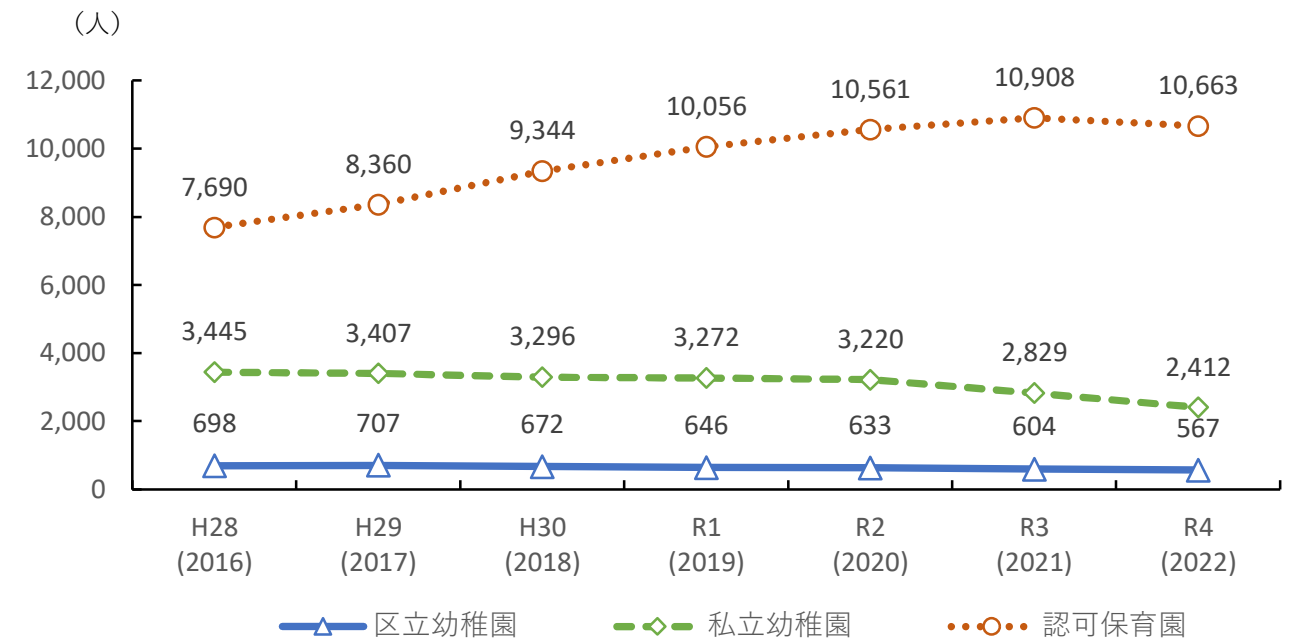
- ① 施設の老朽化が進んでいる伊藤幼稚園より順次閉園します。
- ② 伊藤幼稚園は令和5年度末(令和6年3月末)をもって閉園とします。
令和5年度募集は5歳児(空き分)のみ、4歳児は募集停止とし、令和6年度募集は行いません。
- ③ 閉園にあたっては、近隣の幼児教育・保育施設と連携した異年齢との交流機会の確保や思い出に残る卒園のための工夫を行う等、修了に向けて幼児期にふさわしい生活が送れるような取り組みを推進します。

参考資料

(1) 就学前人口の推移



(2) 区内幼児教育・保育施設の在園者数の推移



(3) 伊藤幼稚園周辺の幼児教育・保育施設



- 1 伊藤幼稚園
- 2 伊藤保育園
- 3 富士見台保育園
- 4 キッズタウンにしおおい
- 5 グローバルキッズ西大井園
- 6 みどりの丘
- 7 西大井保育園
- 8 はぐはぐキッズ二葉
- 9 こころしなかわなかのぶ保育園
- 10 西大井えほん保育園
- 11 大井うさぎ幼稚園
- 12 まなびの森保育園西大井
- 13 このえ中延保育園
- 14 キッズガーデン品川豊町
- 15 亀田幼稚園
- 16 グローバルキッズ中延園
- 17 荏原学園旭幼稚園
- 18 滝王子保育園
- 19 品川翔英幼稚園
- 20 キッズラボ中延園
- 21 こまどり幼稚園
- 22 瑞穂幼稚園
- 23 馬込幼稚園
- 24 大森ルーテル幼稚園